

熊本地震復興支援活動

2016年4月に熊本県と大分県で発生した「熊本地震」では、当社の事業所や工場がある地域も大きな被害を受けました。地震発生から5ヶ月が経過した9月15～16日の2日間、大きな被害を受けた熊本県益城町において2016年度の新入社員16名が片付け作業等のボランティア活動に参加しました。会社を離れ、現地に行かなければできなかった体験は、自分や会社と、社会や地域との関係を考えてみる貴重な経験になったようです。

当社では、CSRの一つの重要な視点は「人材育成」にあると考えています。若手社員がこのような活動を通じて、日本道路らしいCSR活動の推進力となっていくことを期待しています。



作業内容の確認と安全ミーティング



ゴミの分別作業

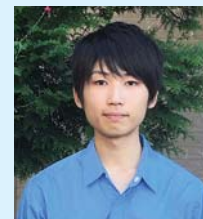


廃棄物集積場での廃棄物の積み下ろし



経営企画部
渡辺 翔太
(現所属：北海道支店
道央営業所)

私たち日本道路の社員は、廃棄物集積場でのゴミ分別及び荷物の積み降ろしを行いました。メディアで報道されることも少なくなり、震災復興も一段落したのかと思っていましたが、現地ではまだまだ震災と向き合っている人が多く居るということを実感しました。



東北支店
浅野 悠

私はボランティアに参加し、同期社員と協力して作業に従事するなかで助け合いの心を学びました。また、被災地へ物資を運ぶのも、瓦礫などを運び出すのにも道路が使われており、会社の社会的役割と重要性を認識しました。作業は過酷で辛いものでしたが、今回の経験で感じたことを忘れず、これからも大切にしていきたいです。

■熊本地震における義援金寄付

2016年7月20日に当社熊本営業所が位置する御船町ならびに火の国アスコ、大津阿蘇出張所が位置する大津町に、当社従業員からの寄付と会社からの寄付を合わせ、それぞれ、200万円、合計400万円の義援金を寄付いたしました。



左から 梶井熊本営業所長・藤木町長(御船町)
・高杉九州支店長